



空からゼオン

—日本ゼオン高岡工場 編—



精密光学研究所

大伴家持が四季の変化の美しさを題材に多くの歌を詠んだ二上山の麓に位置する高岡工場は、1956年、塩化ビニルの量産工場として誕生しました。塩化ビニル事業からの撤退後は、水素化ニトリルゴムと電子材料を主力製品として発展。敷地内には医療器材の各種カテーテル等を生産するゼオンメディカル(株)高岡工場、光学フィルムを生産する(株)オプテス北陸工場高岡製造所も擁し、ゼオングループの新事業の重要生産拠点として存在感を示しています。

さらに近年は工場内に精密光学研究所とメディカル研究所が加わり、「安定・安全・技術の見える化を実現させ、コストを意識した自在な生産体制を構築し、変化に強い研究開発型工場』に変貌を遂げるべく、日々諸課題に取り組んでおります。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話03 (3216) 1772



ZEON



日本ゼオン株式会社

証券コード：4205

株主のみなさまへ 第92期 年度報告書

2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日

新たにスタートした中期経営計画 「SZ-20 Phase III」のもと オールゼオンの強みを結集して、 さらなる成長を目指してまいります。



取締役会長
古河 直純



取締役社長
田中 公章

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第92期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

株主の皆さまには引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2017年3月期の連結業績に対する分析と自己評価をお聞かせください。



高機能材料事業の拡大と継続的なコスト削減の取り組みにより、
当期純利益は過去最高の232億円を達成しました。

当期の連結売上高は、テレビ向け光学フィルムなどの高機能材料が好調を維持したものの、製品市況が低迷したエラストマー事業がやや低調に推移したことから、全体としては前期比で2.7%の減収となりました。売上高の減少は主に、販売数量の増加による増収分が製品価格の低下による減収と為替変動の影響をカバーできなかったことによるものです。

収益面では、積極的な拡販活動と継続的なコスト削減の取り組みが奏功し、連結営業利益が全体で3.1%の増益となりました。エラストマー素材事業は製品価格の低下を主要因として0.8%の減益となりましたが、高機能材料事業は、エネルギー用部材、情報用部材、メディカルデバイスの重点3分野がいずれも順調に拡大したことから前期比19.6%の大幅な増益となっています。

以上の結果、2017年3月期の連結当期純利益は前期比で28.1%増加し、過去最高益を記録しました。当社グループの成長軌道が揺るぎないものであることを再確認できた意義ある1年であったと振り返っています。

連結財務ハイライト

■売上高

2,876億円
前期比 2.7%減



■経常利益

318億円
前期比 1.1%減



■親会社株主に帰属する 当期純利益

232億円
前期比 28.1%増



本年4月、新たな中期経営計画「SZ-20 Phase III」が始動しました。
新中計の位置づけと戦略についてご説明ください。



2020年ビジョンの実現を見据え、「深化」と「探索」によるソリューションの
世界展開と重点開発領域における新事業創出、新製品開発に取り組んでいきます。

今年度から2020年度までの4ヶ年を「SZ-20 Phase III」とし、スタートさせました。「化学の力で未来を今日にするZEON」を2020年のありたい姿として据えてきましたSZ-20計画の最終フェーズとなります。次頁以降に具体的な事業戦略をご紹介しますが、ここでは全社戦略についてご説明いたします。

中期経営計画 SZ-20 Phase III

成長

①オールゼオンの強みを組み合わせる「**深化**」と、壁を越えて外部と連携する「**探索**」によって、世界中に「**ソリューション**」を提供し、社会に貢献する。

②『重点開発領域』での「**新事業創出、新製品開発**」を加速する。
重点開発領域：地球環境、スマート化、健康と生活

風土

③多様な考え方を活かし、まずやってみて、前向きに行動することを尊重する組織風土を育成する。

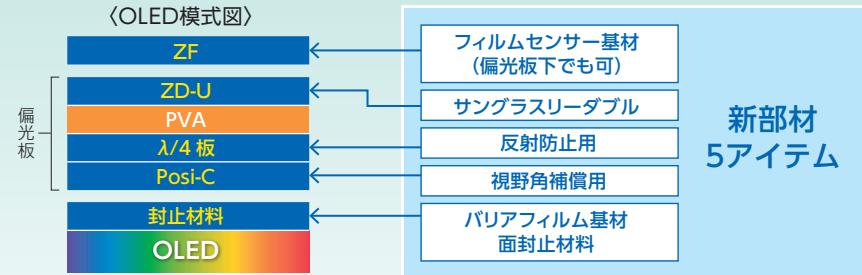
全社戦略の一つ目であります①は、既存の事業・製品に付加価値をつけて深耕する『深化』と、外部との連携を密にして新しい事業・製品を掘り起こす『探索』によって、お客様の企画段階からアフターサービスまでのサプライチェーン全体にゼオンが参加し、対話を繰り返す。そこから生まれたソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいりたい、という想いを込めています。

②は、省エネルギーや発電・蓄電を通して考える「地球環境」、医療、農業や自動車の自動運転、生活関連の「健康と生活」、IoT関連技術などの「スマート化」の3つの重点開発領域に着目しながら新事業の創出、あるいは新製品の開発を加速していこうというものです。

三つ目である③には風土育成を掲げました。前述①②の成長戦略を支えるベースとなる重要なものと位置づけています。組織内の対話・組織の壁を越えた対話を促す『たいまつ活動』を開始して5年になりますが、これを今後も更に力を入れて継続すること、加えて経営者と従業員の対話やダイバーシティの推進などの取組みを着実に進めてまいります。

深化

▶ ゼオノアフィルム® 新部材を品揃え、OLED市場に参入



有機ELディスプレイ (OLED) は成長を続けるスマートフォン市場に歩を合わせる形で需要の拡大を続けており、今後は大型テレビ市場での採用拡大も見込まれております。タッチセンサー用基材の開発、折り曲げ(フォーダブル)対応など、オールゼオンの強みを結集する「深化」によってこれらの用途に適用できる新部材を続々と提供し、事業の拡大を進めてまいります。

SZ-20

PhaseⅢ

「化学の力で未来を
実現のための

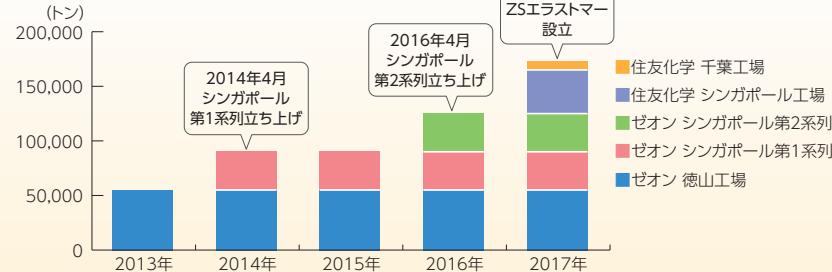
今日にするZEON」
最終フェーズ

「地球環境に配慮した製品とソリューションの提供を快適な社会の実現に果たすべく私たちZEONが4つのキーワードに

サービスの組み合わせによる通じて、お客様の夢と貢献し続ける」との使命を取り組んでいる課題を紐づけてご紹介します。

探索

■ S-SBR生産能力推移

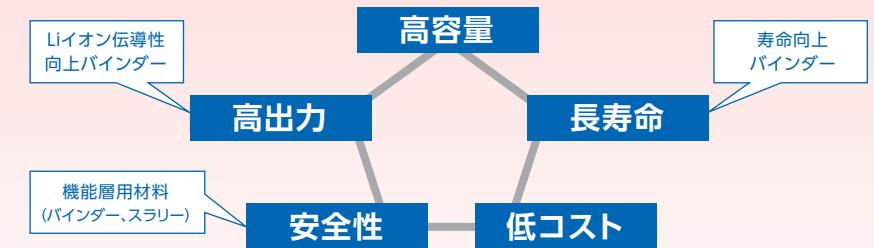


企業の壁を越えた連携により船出した「ZSエラストマー株式会社」。合計17.3万トンの生産能力を武器に、拡大・成長するS-SBR(溶液重合合法スチレンブタジエンゴム)市場へ高品質な製品を安定的に供給してまいります。また、住友化学およびゼオン両社のポリマー変性技術および生産技術を組み合わせ、自動車の軽量化とともに待望されているタイヤの「ウェットグリップ性」「低燃費性」「耐摩耗性」の向上を実現していきます。

▶ S-SBR シナジー効果で世界のリーディングポジションを

▶ エネルギー用部材 車載向けに着実に採用を拡大

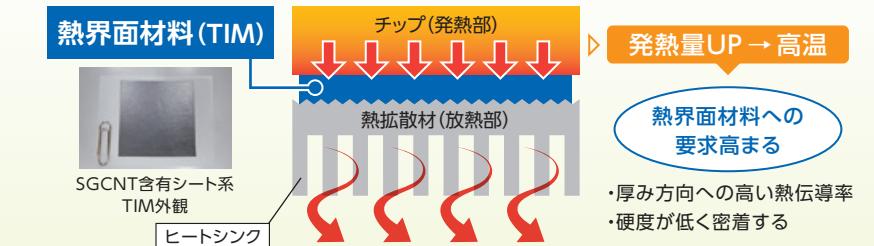
■ セル5大特性とゼオンの提案



リチウムイオン電池が今後克服すべきさまざまな技術課題。例えば車載向けでは低温・高温下での劣化が大きな問題となりますが、ゼオンはそういった問題を解決した材料を提案し、車の寿命に合わせた電池の長寿命化に貢献しております。2020年には年間販売400万台にも達しようかと予測されるPHV・EV市場にゼオンは「ソリューション」でお応えし、着実に採用拡大を進めてまいります。

ソリューション

■ SGCNTとゴム複合の高性能なシート系熱界面材料 (TIM) を開発



産総研と共に開発したSGCNT*とゴム複合のシート系熱界面材料 (TIM) は、厚み方向に高い熱伝導率をもつのみならず、配合技術の工夫により高い柔軟性の維持が可能となり、従来のグリース系TIMの有する問題を大きく改善するものとして注目を集めております。発熱問題が顕著化しているサーバーおよびパワーデバイス中の半導体温度を大きく低下させる新製品として、スマート社会の実現への貢献が期待されます。

*SGCNT: スーパーグロース法を用いたカーボンナノチューブ

▶ カーボンナノチューブ ゴム複合材料を用いて熱問題解決に貢献

新事業創出・新製品開発

売上高

売上高の推移

概要

会社基盤を支える事業

エラストマー素材
事業部門

合成ゴム／合成ラテックス／化成品

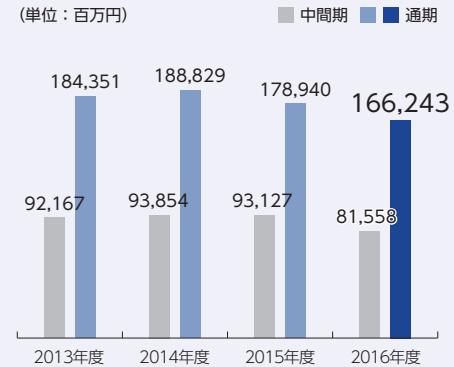
57.8%



1,662億43百万円

7.1%

(前期比)



合成ゴム

特殊合成ゴムの国内販売が堅調に推移したものの、国内タイヤメーカー各社の稼働率が低調だったことに加え海外市況価格悪化の影響も受けたため、全体の売上高は前期を下回りましたが、営業利益は前期を上回りました。

合成ラテックス

樹脂改質用途の販売数量が顧客の稼働状況により減少したことなどから、全体の売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

化成品

出荷調整を行ったことおよび市況の軟化、為替の円高進行の影響などにより販売が振るわず、全体の売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

●当事業部門全体の売上高は1,662億43百万円(前期比7.1%減)、営業利益は205億52百万円(同0.8%減)となりました。



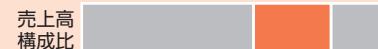
製品用途例

新規展開を中心とする事業

高機能材料
事業部門

高機能樹脂・部材／情報材料／化学品／医療器材

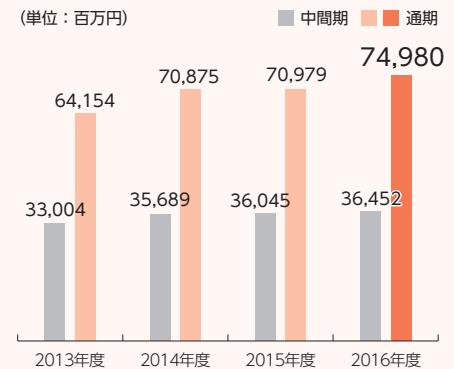
26.1%



749億80百万円

5.6%

(前期比)



高機能樹脂・部材

高機能樹脂関連では、医療用途の販売が好調に推移しました。高機能部材関連では、モバイル向け光学フィルムが顧客の在庫調整の影響を受けた一方で、テレビ向け光学フィルムの販売は期を通じて堅調に推移しました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

情報材料

トナーの売上高は前期を下回りましたが、電池材料および電子材料の売上高は前期を上回りました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

化学品

特殊化学品、合成香料ともに販売が堅調に推移しましたが、海外における競争激化等の影響を受けたため、全体の売上高は前期を上回りましたが、営業利益は前期を下回りました。

●当事業部門全体の売上高は749億80百万円(前期比5.6%増)、営業利益は98億32百万円(同19.6%増)となりました。

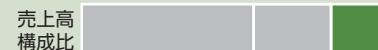


製品用途例

その他の事業部門

RIM 配合液・成形品／塗料ほか

17.0%



490億38百万円

2.3%

(前期比)

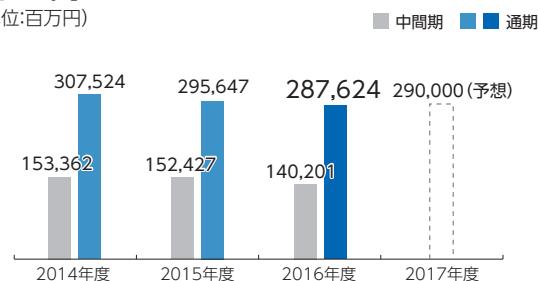


●子会社の商事部門等の売上高が前期を上回りました。この結果、全体の売上高は490億38百万円(前期比2.3%増)、営業利益は28億65百万円(同14.5%増)となりました。



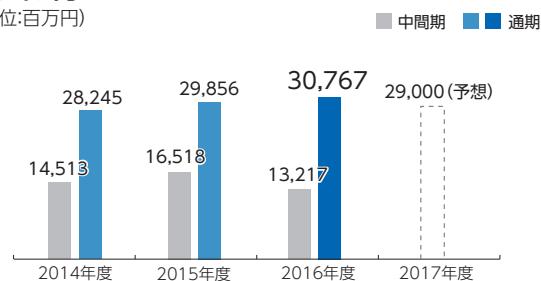
売上高

(単位:百万円)



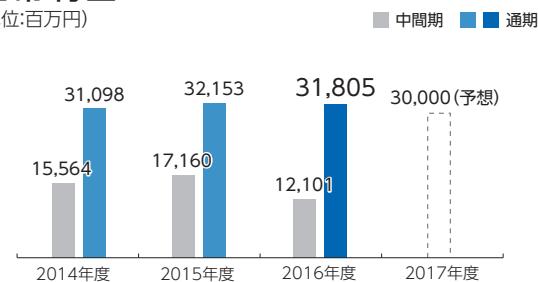
営業利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益※1

(単位:百万円)



POINT

・エラストマー素材事業における製品市況低迷等の影響を受け売上高は減少しましたが、高機能材料事業が順調に拡大し、営業利益は増加しました。
 ・減損損失、関係会社整理損の減少により特別損益が改善し、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益を達成しました。

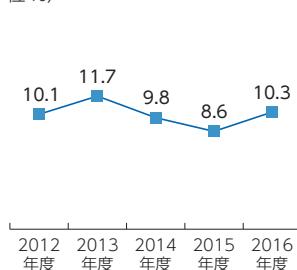
営業利益率※2

(単位:%)



ROE (自己資本当期純利益率)※2

(単位:%)



年間配当金

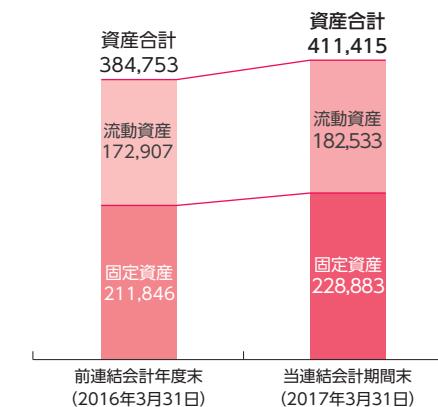
(単位:円)



※1.「企業結合に関する会計基準」等を適用し、2015年度より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、2014年度までの当期純利益についても科目名を統一しております。

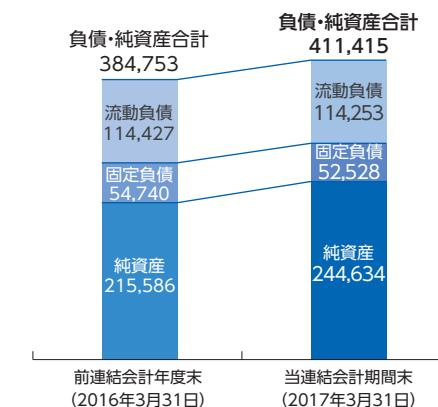
※2.営業利益率およびROE(自己資本当期純利益率)につきましては、各年度の通期実績値の推移をお示しております。

連結貸借対照表 (単位:百万円)



POINT

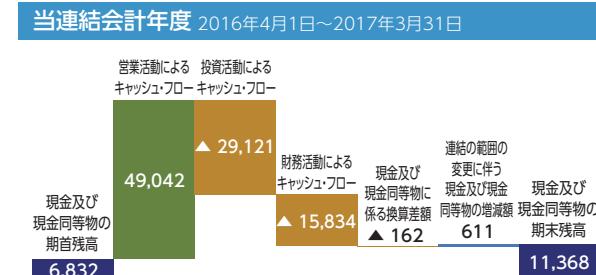
受取手形及び売掛金、投資有価証券などが増加したことにより、資産合計は前年度末に比べて増加しました。



POINT

支払手形及び買掛金などが増加しましたが、有利子負債などが減少したことにより、負債合計は前年度末に比べて減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



POINT

・税金等調整前当期純利益による資金の増加等により、営業活動で得られた資金は490億42百万円となりました。
 ・主として有形固定資産の取得に資金を振り向けた結果、投資活動で使用した資金は291億21百万円となりました。
 ・借入金の返済、配当金の支払など財務活動で使用した資金は158億34百万円となりました。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日	毎年3月31日(その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法	電子公告 http://www.zeon.co.jp/ (ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507) 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ 会社の概要 (2017年3月31日現在)

商号 日本ゼオン株式会社
(ZEON CORPORATION)
設立 1950年4月12日
資本金 242億1千1百万円
本社 〒100-8246
東京都千代田区丸の内1-6-2
新丸の内センタービル
電話 03(3216)1772
従業員 3,090名(連結)

■ 役員 (2017年6月29日現在)

取締役会長 古河 直純	常勤監査役 南 忠幸
取締役社長 田中 公章	常勤監査役 平川 慎一
取締役 平川 宏之(☆)	監査役 藤田 譲
取締役 西嶋 徹(☆)	監査役 郡 昭夫
取締役 今井 廣史(☆)	監査役 西島 信竹
取締役 林 佐知夫(☆)	執行役員 井上 俊弘
取締役 古谷 岳夫(*)	執行役員 小瀬 智之
取締役 柳田 昇(*)	執行役員 豊嶋 哲也
取締役 藤澤 浩(*)	執行役員 横田 真
取締役 伊藤 晴夫	執行役員 渡辺 誠
取締役 北畑 隆生	執行役員 松浦 一慶
取締役 南雲 忠信	執行役員 川中 孝文
	執行役員 江口 勉

(☆) の取締役は常務執行役員を兼務しております。
(*) の取締役は執行役員を兼務しております。

■ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

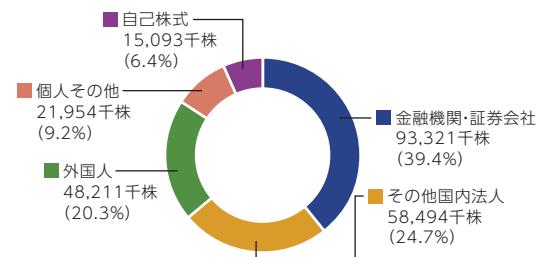
発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 237,075,556株
株主数 8,548名(前年度末比2,780名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
横浜ゴム株式会社	22,682	10.22
株式会社みずほ銀行	11,066	4.99
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	9,287	4.18
朝日生命保険相互会社	7,679	3.46
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	7,112	3.20
全国共済農業協同組合連合会	6,970	3.14
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	6,480	2.92
旭化成株式会社	6,438	2.90
農林中央金庫	4,000	1.80
日本ゼオン取引先持株会	3,659	1.65

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式15,093千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



■ ゼオングループの主要拠点

日本国内拠点

- 日本ゼオン株式会社
 - 本社
 - 総合開発センター
 - 高岡工場
 - 川崎工場
 - 株式会社オプテス
 - ゼオンエフアンドビー株式会社
 - ゼオン化成株式会社
 - ゼオンケミカルズ米沢株式会社
 - ゼオンナノテクノロジー株式会社
 - ゼオンノース株式会社
 - ゼオンポリミクス株式会社
 - ゼオンメディカル株式会社
 - ゼオン山口株式会社
 - 株式会社トウペ
 - RIMTEC株式会社
 - 東京材料株式会社
 - 株式会社TFC
 - ZSエラストマー株式会社
 - 岡山プラジエン株式会社
 - ジスイنفotech株式会社
- 徳山工場
- 水島工場
- 大阪事務所
- 名古屋事務所

グローバル拠点

アジア・オセアニア

- 瑞翁(上海)管理有限公司
- 瑞翁貿易(上海)有限公司
- 瑞翁化工(上海)有限公司
- 瑞竹化工(上海)有限公司
- 瑞翁化工(広州)有限公司
- 瑞翁化成塑料(常熟)有限公司
- 泉瑞股分有限公司
- Zeon Korea Co., Ltd.
- Zeon株式会社
- Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd
- Zeon Asia Pte. Ltd
- Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.
- Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.
- Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.
- Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- Zeon Research Vietnam Co., Ltd.
- Zeon India Private Limited

欧州

- Zeon Europe GmbH
 - Zeon Europe GmbH - Branch in France
 - Zeon Europe GmbH - Branch in Spain
 - Zeon Europe GmbH - Branch in Italy
- Telene S.A.S.

北米・中南米

- Zeon Chemicals L.P.
 - Zeon Chemicals L.P. West Coast Office
 - Zeon Chemicals L.P. R&D Center
 - Zeon Chemicals L.P. Kentucky Plant
 - Zeon Chemicals L.P. Mississippi Plant
 - Zeon Chemicals L.P. Texas Plant
- Zeon Brasil Ltda.
- Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.

